

わがままな生き物の田覚めと成長を促す春の柔らかな田差し。花冷えがつづき開花が遅れていた桜の花が、この田に合わせたかのようにあひたりひたりで咲き誇り始め、令和七年度の入学式を迎えることができました。

「」来賓の皆様。新たに二十九名の子どもたちを迎えて、学校として新たなスタートをきるこの晴れやかな日に、皆様に「」列席いただきること、篤く感謝とお礼を申しあげます。皆様の温かな「」理解と「」支援あっての淀中学校です。令和七年度も、変わらぬ温かく学校を支えていただけますと幸いです。

新入生のみなさん。淀中学校への入学おめでとうございます。大和田小学校、川北小学校、出来島小学校。主に三つの小学校から仲間が集まりました。学校選択や転入でそれ以外の小学校から入学する仲間もいます。小学校で六年間を共に過ごした人だけではなく、新しい出会いがたくさんある四年です。小学校にはなかつたことがたくさんあります。教科「」とに先生が変わる授業。毎日の部活動。そして何よりも、急に心も体も大人びていく思春期と言われる成長の時期。

そんな新しいことでいっぱいの中学校生活。楽しく有意義な毎日にしてほしいです。そのためには、みんなの気持ちです。素直で前向きな気持ち。楽しく有意義な中

学校生活にしたいことの素直で前向きな気持ちです。そのような気持ちで日々を過ごしてほしいです。

それでは新入生のみなさんに、途中学校への入塾にあたって、これだけはぜひお願いしたいと校長先生が思ついたことを伝えてください。通常、あまり式辞では話せないと感じますが、シンプルで強い願いです。それは、毎日の教科の授業を最優先に頑張つてほしいという願いです。以下、少し詳しく話をします。

授業、行事、部活動、友だちと過ごす時間、先生との相談の時間など、学校生活にはそれなりに大切な時間があります。それぞれがみなさんの成長につながる大切な時間である」といひがいはないのですが、校長先生は、その中でいちばん大切な時間は毎日の教科の授業だと強く思っています。

学校とこののは人生を生きていこうで必要なものなしとを広げ学ぶといふですが、その中でも、毎日の教科の授業は学校生活の大部分を占める活動で、まちがいなく学校生活の中心です。いじがおんなかになってしまつてしまは、他のことも十分に学べるはずもあつません。

先生たちのせんのよつし物語で毎日の教科の授業に真剣に臨みます。みんなともとのよつし物語で毎日の教科の授業に真剣に

臨んでください。

授業に必要な準備を忘れず、集中して授業を受け、よくわからなかつたといひながらの日のうちに先生に質問して解決します。

みなさんの中には、勉強が得意な人ばかりではなく苦手な人もいるかと思ひますし、苦手なことを面白く思えないのは無理からぬことだと思いますが、苦手であっても毎日の教科の授業を眞面目に受け、どんな小さなことであっても、わからなかつたことがわかるようになる喜びやできなかつたことができるようになる喜びを感じる日々を積み重ねてほしいです。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日は、お子様の「入学おめでとうござります。中学生となつたお子様は、思春期の真っ只中に突入していくかも。」感いを感じる時もあるかもしれませんのが、ぜひ、変わらぬ愛情とつかず離れずほどよい距離感で、さらなるお子様の成長を見守つてください。

以上、入学式のお辞じをせいただきました。

令和七年四月三日

大阪市立淀中学校 校長 吉田健太